



ヴェオリア アジア ヴェオリア・ジャパングループ安全衛生方針

事故・災害防止と安全衛生への取り組み

2025年1月



ヴェオリアは、水、廃棄物処理、そしてエネルギー事業における世界のリーディングカンパニーです。私たちは、「責任」をはじめとするグループの価値観に基づき、持続的な発展と成長を実現する企業の世界標準となることを目指しています。この「責任」とは、**事業の中心に人を置くことを意味します**。それは「人」を守るために、職場での**安全衛生とウェルビーイングは常に最優先事項**であり、私たちの基本的な価値観の重要な一部であるということです。


私たちの目標は「**ゼロ災**」を達成することです。従業員が業務中に怪我をするようなことは決してあってはなりません。しかし、残念ながら「ゼロ災」実現へはまだ道半ばです。死亡・重大災害を防ぐためには、全従業員が**12個のライフセービングルール**を遵守しなければなりません。私たちの「リスク防止文化」は、「ヴェオリア・ケア」に沿った思いやりのある行動のうえに成り立ちます。


事故・災害防止のための5本の柱は以下のとおりです：

- 現場のマネージャーを含む**全ての管理職を巻き込みましょう**。全従業員が模範的であり、公正な文化を確立することで安全に行動することを促進しなければなりません。安全活動に積極的に参加する文化は、ヒヤリハット事例を積極的に報告することを奨励し、ルール違反に対して毅然と対応することにより作られます。これはすべて、皆さんの安全を目的としています。
- リスクはすでにあるもの、今後起こり得るものを含めて適切に管理し、私たちおよび顧客の施設と設備を護りましょう。日本の法律を尊重する一方で、リスクアセスメントの実施、STOP&THINKカードの活用、12個のライフセービングルールの遵守、ヴェオリアのルール（10ハイリスク管理基準・常に安全第1ルール）の遵守、産業リスクの防止（防火等）、教育の実施、ベストイニシアティブ（優良事例）の共有、緊急対応手順の整備、技術の革新、設備の予防保全や定期点検の実施を行い、日本市場における選択基準を作りましょう。異常や劣化箇所の特定と処置・HiPo（不安全行動・状態やヒヤリハットでも一歩間違えば重大な災害に繋がった事象）活動・不安全状態が発生場合に作業を中止する義務の励行、これらも安全の取り組みの中核をなすものです。
- **社会的パートナーとの対話**。従業員からのフィードバックをもとに、安全活動とリスク管理を促しましょう。また、ベストイニシアティブの水平展開、従業員や協力会社（下請け業者）、取引先からの意見を積極的に取り入れましょう。
- **全従業員への教育**（特に新入社員へは強い注意を払う）。全ての従業員を包括的に教育する仕組みを展開することで、危険への予防策を確立できるようにします。この仕組みにはアジアのOHSリーダーシップ・プログラムも含まれます。
- **安全とリスクの管理状況を監視・管理する**。戦略的なものから業務的なものまで、構造化された多様な方法で全従業員を巻き込みましょう。そして目標と指標を定め、管理職による安全訪問や安全監査を実施しましょう。また、安全成績の向上のためのフィードバックと革新的な改善提案を共有することで、従業員の安全を確保し、業務のサポートをしましょう。

この方針は譲れないものであり、「グリーン・アップ」成功の鍵となります。アジアにおけるすべての**従業員と協力会社（下請け会社）は、いついかなるときも安全対策を尊重する責任があります**。私たちの行動は、自分自身や周囲の人々にとって危険な状況を防ぐものでなければなりません。チームの健康と安全を確保するために必要な措置を講じることは、すべての管理者の責任です。

私は、皆さん一人ひとりが**安全で健康な状態で帰宅**することができるよう願っています。そのために、皆さんにもヴェオリアグループの「安全衛生遵守」の役割を担っていただきたいと思います。私はヴェオリアグループの安全ルールを皆さんが尊重し、守っていただけると信じています。全従業員が安全ルールを守ることができるように私も最善を尽くします。


クリストフ・マケ
シニア・エグゼクティブバイスプレジデント
アジア太平洋地区担当


ギヨーム・ドゥルダン
ヴェオリア・ジャパングループ合同会社
代表取締役社長